



レジンセメント「キャリブラ セラム」 各種補綴物症例集



目次

Cerec ブロック

前歯： 草間 幸夫 先生



..... 6, 7

大白歯：佐藤 洋司 先生



..... 8, 9

大白歯：山崎 治 先生



..... 10, 11

ジルコニア

前歯： 荒井 昌海 先生



..... 12, 13

小白歯：天川 由美子 先生



..... 14, 15

小白歯：大谷 一紀 先生



..... 16, 17

小白歯：構 義徳 先生



..... 18, 19

セルトラ DUO (ジルコニア強化型ケイ酸リチウムガラスセラミック)

大白歯：中村 昇司 先生



..... 20, 21

ニケイ酸リチウムガラスセラミック

大白歯：内山 哲哉 先生



..... 22, 23

大白歯：佐々木 英隆 先生



..... 24, 25

CAD / CAM 冠

大白歯：須崎 明 先生



..... 26, 27

大白歯：鷺野 崇 先生



..... 28, 29

レジン前装金属冠

小白歯：須崎 明 先生



..... 30

金パラ

大白歯：鷺野 崇 先生



..... 31

関連製品 32, 33

デンツプライシロナ CAD/CAM solutions ワークフロー 34

Prime&Bond® universal

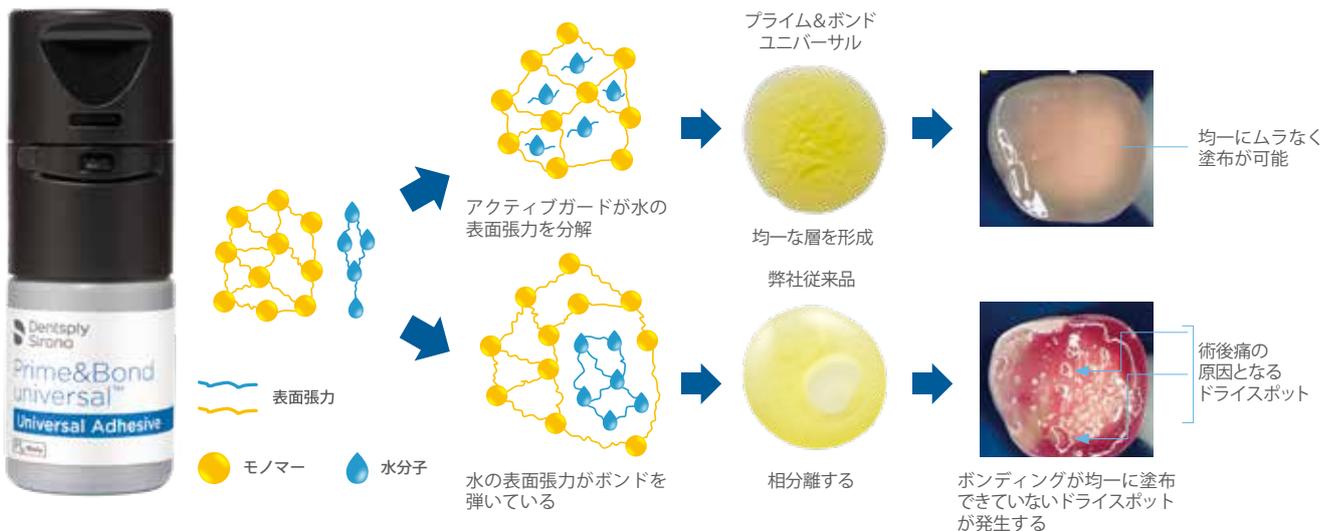
歯科用象牙質接着材・歯科用知覚過敏抑制材料

均一なボンド層を形成し、術後痛を抑制

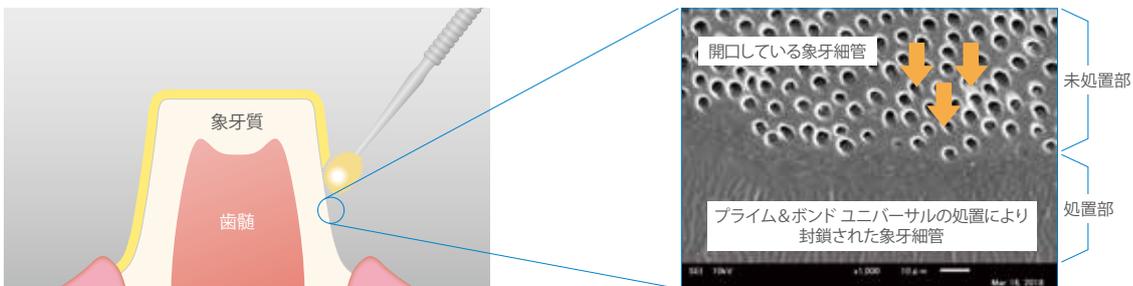
プライム&ボンド ユニバーサルは1液性のユニバーサルタイプのボンディング材です。日々のコンポジットレジン接着だけでなく、セメントの前処理材としても使用できます。

水と接触した際のイメージ（従来品との比較）

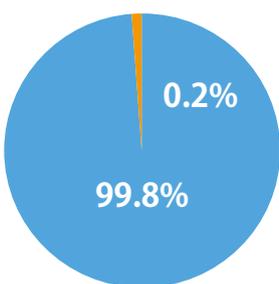
着色したボンディング材を濡れた歯面へ塗布した状況



湿潤環境下でも塗布ムラを防いで強固な接着



プライム&ボンド ユニバーサルをセメントの前処理で塗布することで、接着強化だけでなく象牙細管からの浸出液を遮断し、術後疼痛を軽減します。



海外開業医の修復治療 3176 症例のうち、術後痛を訴えられたケースは0.2%であった。
（統計：デンツプライシロナ社）

■ 術後痛の発症がなかった

■ 術後痛の発症があった

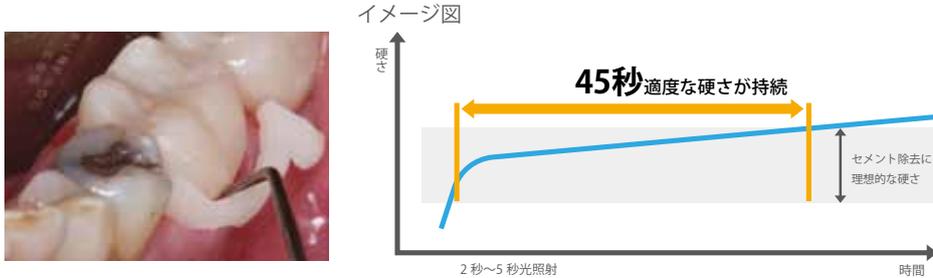


Calibra® Ceram

歯科接着用レジンセメント

光照射によるゲル状態が長く、 余剰セメントが固まりすぎず余裕をもって除去可能

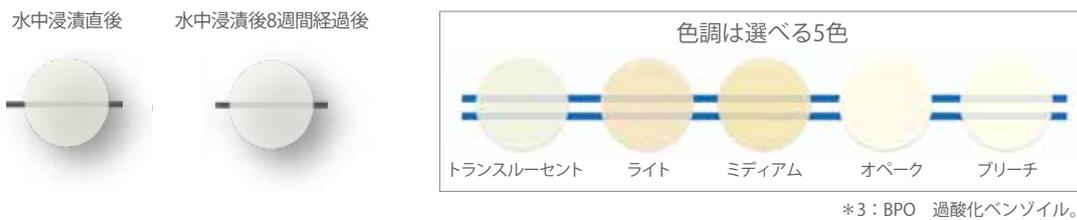
余剰セメントの取り残しがなく、歯肉への炎症発症のリスクを軽減できます。



長期にわたり色調が安定

通常デュアルキュアセメントに配合の重合開始剤の BPO^{*3} / アミンは中期的に変色のリスクがあります。

キャリブラ セラムは変色リスクの少ない新規重合開始剤を採用。長期的に安定した色調を実現します。



さまざまな補綴症例をこの1本で。セメントの使い分け不要

キャリブラ セラムは接着用、合着用とセメントを分けることなく、1本であらゆる症例に対応可能です。ユニバーサルタイプのボンディング材「プライム & ボンド ユニバーサル」を前処理材として使用することで高い接着力を発揮します。

<p>接着</p> 	<p>CAD/CAM ブロック</p> <p>ガラス セラミックス</p> <p>ハイブリッド セラミックス</p> <p>補綴物側はシラン処理 支台歯はプライム&ボンド ユニバーサルで処理</p>	<p>ジルコニア</p> <p>貴金属</p> <p>金パラ</p> <p>支台に保持形態がない場合 *1</p>  <p>インレー/アンレー</p> <p>支台歯、補綴物側ともに プライム & ボンド ユニバーサルで処理</p>
<p>合着</p> 	<p>ジルコニア</p> <p>貴金属</p> <p>金パラ</p> <p>支台に保持形態がある場合 *2</p>  <p>支台歯、補綴物側ともに前処理不要</p>	

* 1 支台に保持形態がない場合：支台のテーパーが歯軸に対して 20 度以上、もしくは、高さが 4mm 未満の場合

* 2 支台に保持形態がある場合：支台のテーパーが歯軸に対して 20 度以内、かつ高さが 4mm 以上の場合



cerec ブロック：前歯

草間 幸夫 先生

西新宿歯科クリニック 東京都新宿区開業



図 1：術前



図 2：支台歯形成
ハーフジャケットの支台を形成。



図 3：補綴物への処理
補綴物内面にシランカップリング処理を行う。



図 4：歯面への処理
プライム&ボンドユニバーサルを 20 秒間塗布。



図 5：乾燥
吸引しながら十分なエアブローを行う。



図 6：光照射
光照射器にて 10 秒間の光照射を行う。



図 7：セメントの填入
補綴物の中にキャリブラ セラムを多めに填入。



図 8：セット
支台歯へ圧接。



図 9：仮照射（タックキュア）
2～3 秒の短い光照射を行う。



図 10：余剰セメントの除去
半硬化した余剰セメントを探針で除去。



図 11：最終処理
隣接面の残存セメントをフロスで除去し、各面 20 秒間の光照射を行う。



図 12：術後



cerec ブロック：大白歯

佐藤 洋司 先生

さとうデンタルクリニック 秋田県仙北市開業



図 1：窩洞形成
カリエス除去後、窩洞形成を行う。



図 2：色の適合



図 3：歯面への処理
プライム&ボンド ユニバーサルを 20 秒間塗布。



図 4：乾燥
エアブローにて乾燥。



図 5：光照射
光照射器にて 10 秒間の光照射を行う。



図 6：セメントの填入
エッチング後、シランカップリング処理し、補綴物にキャリブラセラムを填入。



図7：セット
窩洞にセットし、2～3秒の仮照射を行う。



図8：余剰セメントの除去
探針で余剰セメントを除去し、20秒間の光照射を行う。



図9：術後



cerec ブロック：大白歯

山崎 治 先生

原宿デンタルオフィス 東京都渋谷区開業



図 1：術前
インレー脱離で来院、仮封材が装着されている。



図 2：窩洞形成
セラミック修復のための適切な厚み、窩洞形態の配慮が必要である。



図 3：補綴物への処理
ラボサイドにてフッ酸処理を行い、表面の粗造化を図る。



図 4：歯面への処理
本症例はインレー窩洞のため、選択的にエナメル質にエッチングを行う。



図 5：歯面への処理
エッチング後、水洗、乾燥を行い、プライム&ボンドユニバーサルを 20 秒間塗布し、5 秒間のエアードライを行う。



図 6：光照射
本症例のように光到達性が良い場合は、装着後の光重合でも問題ないが、確実性を考慮して装着前に 10 秒間の光重合を行った。



図 7：補綴物への処理
 試適後の汚染物質を洗浄し、セラミックプライマーにてシラン処理を行う。



図 8：セメントの填入
 窩洞にキャリブラ セラムを填入。



図 9：セット
 補綴物装着。



図 10：余剰セメントの除去
 光照射器にて仮照射後、余剰セメントを除去。



図 11：光照射
 20 秒間の最終光重合を行う。



図 12：術後



ジルコニア：前歯

荒井 昌海 先生

エムズ歯科クリニック 東京都中野区開業



図 1：術前

隣接面カリエスが大きい。ベニアで対応するにはエナメル質を広く失うためクラウンによって機能性と審美性の改善を図る



図 2：支台歯形成

カリエスを除去し、支台歯を形成



図 3：補綴物への処理

ジルコニア内面にサンドブラスト処理を行う。



図 4：補綴物への処理

ジルコニア内部に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布し、エアブローを行う。



図 5：歯面への処理

歯面に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布。



図 6：乾燥

ゆるやかなエアードライで乾燥。



図 7：光照射
光照射器にて 10 秒間の光照射。



図 8：セメントの填入
補綴物に多めにキャリブラ セラムを填入。



図 9：セット&仮光照射（タックキュア）
支台歯にジルコニアクラウンをセットし、2～3 秒のタックキュア（仮照射）を行う。



図 10：余剰セメントの除去
本製品は余剰セメントが一塊で除去しやすい。



図 11：光照射
追加照射し（各面 20 秒）、完全硬化させる。



図 12：術後



ジルコニア：小白歯

天川 由美子 先生

天川デンタルオフィス外苑前 東京都港区開業



図 1：術前



図 2：支台歯形成



図 3：補綴物への処理

ジルコニアクラウン内部をサンドブラスト処理後、プライム&ボンドユニバーサルを塗布し、接着強化を図る。



図 4：歯面への処理

歯面に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布。



図 5：乾燥

マイルドエアで乾燥後、各面 10 秒間の光照射。



図 6：セメントの填入

フルジルコニアクラウンにキャリブラ セラムを填入。



図7：セット
フルジルコニアクラウンをセット。



図8：余剰セメントの除去
光照射器で仮照射を行い、探針で余剰セメントを除去。(2-3秒の光照射により一塊で除去が可能)



図9：光照射
各面 20 秒間の光照射。



図10：術後



ジルコニア：小白歯

大谷 一紀 先生

大谷歯科医院 東京都台東区開業



図 1：支台歯形成

コンポジットレジンとファイバーコアにて支台築造後、支台歯形成を行った



図 2：補綴物への処理

ジルコニアクラウン内部をサンドブラスト処理し、表面の粗造化を図る。その後、20 秒間プライム&ボンドユニバーサルを塗布。

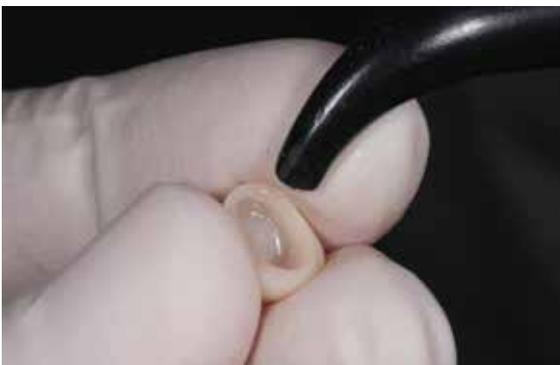


図 3：乾燥

ゆるやかなエアード乾燥。塗布後光照射は行わない。



図 4：歯面への処理

清掃および乾燥後、プライム&ボンドユニバーサルを塗布。



図 5：乾燥

ゆるやかなエアード乾燥。



図 6：光照射

約 10 秒間光照射を行う。



図 7：セメントの填入
ジルコニアクラウンにキャリブラ セラムを填入。



図 8：セット
キャリブラ セラムをジルコニアクラウンに填入後、すみやかに支台歯に装着する。



図 9：仮光照射（タックキュア）
余剰セメント除去のため、光照射器にて各面 2~3 秒間の光照射。



図 10：余剰セメントの除去
探針などで余剰セメントを除去。



図 11：光照射
各面 20 秒間の光照射。



図 12：術後



ジルコニア：小白歯

構 義徳 先生

六本木カマエデンタルオフィス 東京都港区開業



図 1：術前



図 2：支台歯形成

カリエスを除去し、支台を形成。



図 3：補綴物への処理

ジルコニア内部をサンドブラスト処理。



図 4：補綴物への処理

ジルコニア内部に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布。



図 5：乾燥

エアードライ。



図 6：歯面への処理

歯面に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布後、5 秒間のエアブローを行う。



図 7：光照射
光照射器にて 10 秒間の光照射。

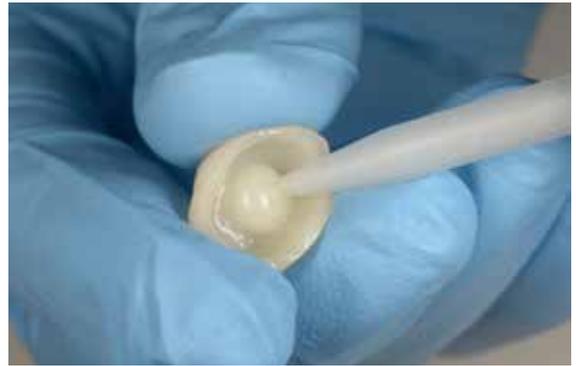


図 8：セメントの填入
ジルコニアクラウンにセメントを填入。



図 9：セット
補綴物装着。



図 10：仮照射（タックキュア）
光照射器にて、2～3 秒間の光照射。



図 11：余剰セメントの除去
探針で余剰セメントを除去し、20 秒間の光照射。



図 12：術後



セルトラ DUO：大白歯

中村 昇司 先生

八重洲歯科診療所 東京都中央区開業



図 1：術前

術前の状態は「6」の修復物が脱離し、仮封がされている。



図 2：窩洞形成と歯面処理

う蝕象牙質を除去後にプライム&ボンドユニバーサル(以下PBU)を塗布する。PBUは20秒間歯質に擦るよう攪拌することで優れた浸透性を発揮できる。その結果、より強固な接着が可能となる。

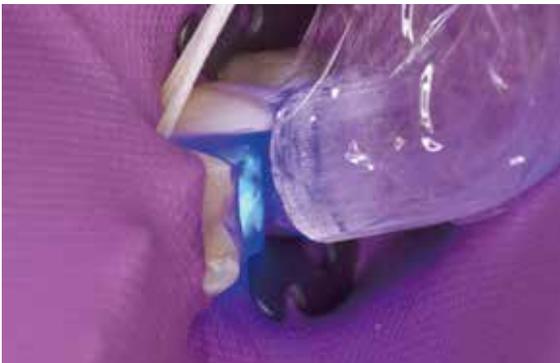


図 3：光照射

確実に 20 秒の光照射を行う。



図 4：露出象牙質のシーリング (DS)

術後の疼痛などの予防。また、接着力と歯質適合性を向上させるため、SDR (フロアブルレジン) の充填を行い、20秒間の光照射を行う。



図 5：窩洞形成

窩洞は DS 後に無形成が理想であるが、必要に応じて最小限の修正を加える。頬側の咬頭は 2mm 保存し歯質に対する抵抗形態を確保した。



図 6：光学印象採得

光学印象採得は歯の各部が明瞭とならねばならない。



図 7：補綴物への処理
シリカ系セラミックの補綴物には、シランカップリング処理を行う。



図 8：セメントの填入
キャリブラ セラムは補綴物内面へ十分な量を填入する。



図 9：歯面への処理
窩洞全体にPBUを塗布し、20秒間窩洞へ擦るよう撹拌を行う。

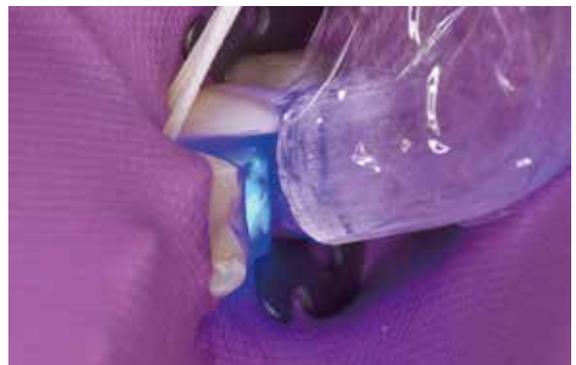


図 10：光照射
確実に20秒の光照射を行う。



図 11：セット
修復・補綴物を歯に装着し余剰のセメントを光照射前における程度除去する。キャリブラ セラムは余剰セメントの除去が容易である。



図 12：術後
装着の後、1週間経過し最終的な余剰セメントの除去を行った。



ニケイ酸リチウムガラスセラミック：大白歯

内山 徹哉 先生

内山歯科クリニック 東京都港区開業



図 1：術前

「6」には機能咬頭に掛かるインレーが装着されており、その下に2次カリエスを認める。



図 2：カリエス除去

インレー修復は不可能と判断し、テーブルトップベニアを選択する。



図 3：歯面への処理

プライム&ボンド ユニバーサルで接着処置後、重合収縮の少ないSDRにてバルクフィルを行う。



図 4：支台歯形成

バルクフィル後のテーブルトップベニアを形成。



図 5：プロビジョナルレストレーション

あらかじめ採得していた術前の印象から、作製した。



図 6：歯面への処理

セットの際ラバーダム防湿の後に、サンドブラスト処理を行い、仮着材やブラークを除去する。



図 7：歯面への処理
 残存エナメル質を限局的にリン酸エッチングし、より強固な接着を目指す。



図 8：エッチング後
 エナメル質が適切に処理され白濁している。



図 9：補綴物への処理
 セラミック内面をラボでフッ酸処理後、シランカップリング材にて処理。



図 10：歯面への処理
 プライム & ボンド ユニバーサルを歯面に 20 秒塗布後、エアブロー、光照射。



図 11：セメントの填入
 キャリブラ セラムを補綴物に填入後、装着。余剰セメントを除去。



図 12：術後



ニケイ酸リチウムガラスセラミック：大白歯

佐々木 英隆 先生

エスデンタルオフィス 東京都千代田区開業



図 1：支台歯形成
形成、カリエス除去しコンポジットレジンにてビルドアップ。



図 2：光学印象採取
オムニカムにて直接光学印象採得。



図 3：設計
バイオジェネリックから進化したバイオジョウにより設計。



図 4：補綴物への処理
IPS e.maxCAD HT/A2 をミリングし、ステイングレーズ。



図 5：補綴物への処理
クリスタライゼーションの終了したアンレー内面をエッチングとシランカップリング処理。



図 6：歯面への処理
窩洞にはプライム & ボンド ユニバーサルを 20 秒間塗布し、5 秒間のエアードライ。



図 7：光照射
エアードライ後 10 秒間の光重合。



図 8：セメントの填入
アンレーにキャリブラ セラム（ミディアム）を填入。



図 9：セット
アンレーを窩洞に装着。



図 10：余剰セメントの除去
筆にて余剰セメントをある程度除去。

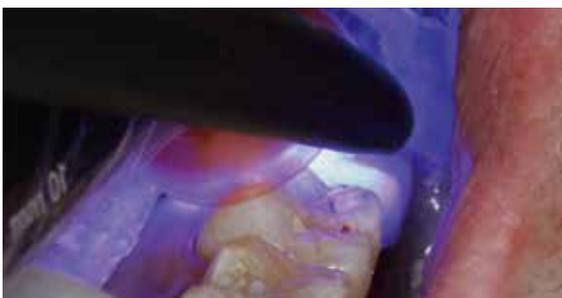


図 11：光照射
タックキュアにて余剰セメント除去後、咬合面、頬側、口蓋側より合わせて 90 秒間最終光重合。



図 12：術後



CAD/CAM 冠：大白歯

須崎 明 先生

ぱんだ歯科 愛知県北名古屋市開業



図 1：支台歯形成
CAD/CAM 冠装着前の $\bar{6}$ 。装着には高い接着力を必要とする支台歯形態である。



図 2：補綴物への処理
クラウンの試適、調整後、内面をサンドブラスト処理し、35% 正リン酸で清掃した。



図 3：補綴物への処理
水洗、乾燥後、クラウン内面のシランカップリング処理を行った。



図 4：歯面への処理
歯面に 20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布し、エアブローした。本ボンディング材のもつセルフスプレディング機能により容易に支台歯に被膜を薄く均一化できる。

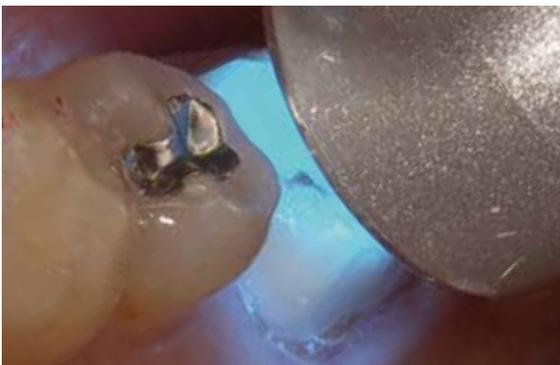


図 5：光照射
確実に歯質に接着させるために光照射する。ボンディング被膜は 5 μ m 程度で修復物の浮き上がりには大きく影響しない。



図 6：セット
キャリアラ セラム (シェード：ミディアム) にて装着した。プライム&ボンド ユニバーサルを併用することで、より確実に高い接着力が得られる。



図7：余剰セメントの除去

余剰セメント除去後の同部位。プライム&ボンドユニバーサルとキャリブラセラムが接触した部位から重合が促進されるためレジンセメントの初期接着力が高くなる。



図8：光照射

レジンセメントを確実に硬化させるためにライトガイドから離れている場所にしっかりと光エネルギーを供給できる光直進性の高い照射器（スマートライト FOCUS）にて光照射した。



図9：術後

3ヶ月後の同部位。経過は良好である。



CAD/CAM 冠：大白歯

鷺野 崇 先生

わしの歯科クリニック 愛知県名古屋市開業



図 1：術前



図 2：支台歯形成



図 3：補綴物の試適

この時点でコンタクト調整、咬合調整を行い研磨しておく。



図 4：補綴物への処理

サンドブラスト処理を行い、CAD/CAM 冠内面に付着した汚染物質を確実に除去しておく。



図 5：補綴物への処理

ハイブリットレジン用のフィラーに対して化学的な接着力を付与するためシランカップリング処理を行う。



図 6：歯面への処理

20 秒間プライム&ボンド ユニバーサルを塗布後、5 秒以上エアー乾燥を行う。エアブローは、波打つアドヒーシブが動かなくなるまで行うことを目安とする。



図7：光照射

10秒間の光照射を行う。光透過性のある修復物を装着する場合は、光照射ステップを省略できるとされているが、確実な接着を獲得するためにはこの段階で光照射を行うのが望ましい。なお、プライム&ボンドユニバーサルは被膜厚さが5-10 μ mと極めて薄いため、修復物の適合性に関与するとは考えにくい。



図8：セメントの填入

CAD/CAM 冠内面にキャリブラ セラムを填入。



図9：セット

CAD/CAM 冠を支台歯に圧接し、2-3秒の仮照射を行う。



図10：光照射

余剰セメント除去後、光照射器（スマートライト FOCUS）を用いて重合反応を促進させる。



図11：完了

マージン部の微細な余剰セメントを除去し、セット完了。



レジン前装金属冠：小白歯

須崎 明 先生

ぱんだ歯科 愛知県北名古屋市開業



図1：支台歯形成

硬質レジン前装鑄造冠装着前の1]。フェール効果を得られる歯質が残存している。



図2：セット

装着には前処理の必要ないキャリブラ セラム（シェード：ミディアム）を用いた。本製品は他のセルフアドヒーシブセメントと比較して象牙質への接着力が高いことが特徴で、かつクラウン内面の金属にも有効である。



図3：仮照射（タックキュア）

本製品は5秒までのタックキュア（仮重合）でも硬化しすぎることなく、45秒間の半硬化状態を保つ特徴を持つ。



図4：余剰セメントの除去

半硬化時間が長いため、容易かつ確実なセメント除去が可能となる。また容易なセメント除去はチェアタイムの向上につながる。



図5：術後

セメント塗布から5-6分後に得られる高い初期接着強度は本製品の特徴となる。

今回紹介した修復物の作製はオーシャンラボ上原孝文氏による



金パラ：大白歯

鷲野 崇 先生

わしの歯科クリニック 愛知県名古屋市開業



図 1：支台歯形成&歯面への処理

支台歯に 20 秒間プライム&ボンドユニバーサルを塗布。



図 2：光照射

エアード乾燥後、光照射器にて各面 20 秒間の光照射。



図 3：補綴物への処理

サンドブラスト処理後、メタルクラウン内面にプライム&ボンドユニバーサルを塗布。



図 4：セメントの填入

メタルクラウンにキャリブラセラムを填入し、支台歯に圧接。



図 5：光照射

最終重合反応を促進させるため光照射を各面から十分な時間行う。



図 6：術後

関連製品

<p>セラメックス スフィアテックワン</p>	<p>5色のシェードでVITA16色をカバーするコンポジットレジジン</p>
------------------------------------	--

■シンプルなシェードシステムで色合わせが簡単



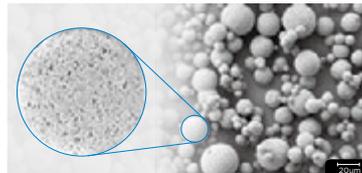
VITA16シェードをベースに、近似したシェードを5つのグループに分け、屈折率を利用した高いカメレオン効果をもつため、同じグループ内であればどの色にも合致するように設計しました。これによってセラメックスは1本のシェードで複数のシェードをカバーします。



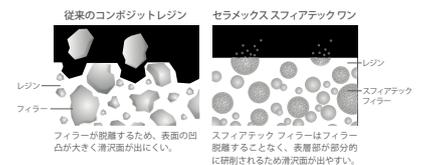
■スフィアテック フィラーにより短時間で光沢が得られる優れた研磨性

スフィアテック フィラーは平均0.6 μmのサブミクロンフィラーにより造粒された真球状フィラーのため、研磨時には研磨材が当たった部分の微細なフィラーのみが研削され、短時間で光沢が得られます。

スフィアテックフィラーとは？



平均0.6μmの微細なサブミクロンフィラーから噴霧顆粒法で得られたスフィアテックフィラーの表面性状。



<p>V4 リング システム</p>	<p>2級窩洞の充填を容易にするマトリックスシステム</p>
-------------------------------	--------------------------------

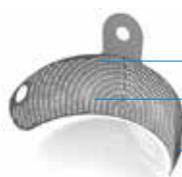


■ニッケルチタン製リングがもたらす適切な歯間分離



- 3～4kgの力で60～80μmの歯間離間を実現するニッケルチタン製リング
- オートクレーブ滅菌可能なガラスファイバー強化型プラスチック製
- ウェッジと干渉しないV字形状

■レジン修復物の自然な豊隆を再現するマトリックス形態



- 形態修正を簡便にする辺縁部隆線の形態
- 光透過性を持たせ、未重合のリスクを軽減
- 表面に樹脂加工を施しているため、レジン充填後の除去が容易

販売名
スマートライト FOCUS
V4システム
アクアジル ウルトラ
エスディーアール
セルトラ DUO
セラメックス ST One
キャリプラ セラム
プライム&ボンド ユニバーサル

一般的名称
歯科重合用光照射器
歯科用充填・修復材補助器具
歯科用シリコン印象材
歯科充填用コンポジットレジン
歯科切削加工用セラミックス
歯科充填用コンポジットレジン
歯科接着用レジンセメント
歯科用象牙質接着材・歯科用知覚過敏抑制材料

認証・届出番号
13B1X10236Y03870
13B1X10236Y03920
221AFBZX00079000
223AFBZX00008000
225AFBZX00129000
229AGBZX00070000
230AGBZX00026000
230AGBZX00043000

クラス分類
I (一般医療機器・特定保守管理医療機器)
I (一般医療機器)
II (管理医療機器)
II (管理医療機器)
II (管理医療機器)
II (管理医療機器)
II (管理医療機器)
II (管理医療機器)

SDR	低い重合収縮応力を持つ バルク充填用フロアブルレジン	スマートライト フォーカス	軽く、使いやすさに フォーカスした LED 光照射器
-----	-------------------------------	------------------	-------------------------------

- 4mm の深さまで一括充填
- 自然に窩洞へ馴染む高い窩洞適合力



- 重量わずか 90g と軽く、フィットしやすい設計
- 光直進性に優れ照射距離が離れても光量が減衰しにくい



アクアジル ウルトラ	高い親水性で細部の印象まで 確実にキャッチするシリコン印象材	セルトラ DUO	審美性と強度を併せ持つ歯冠色の ガラスセラミックスブロック
---------------	-----------------------------------	----------	----------------------------------

- 高い親水性のため、唾液や浸出液などの影響受けにくい
- 独自の架橋結合様式による高い引裂き強度



- 10% のジルコニアを含むことで高い強度を実現
- 1μm 以下のガラスセラミック結晶配合で短い加工タイムを実現



デンツプライシロナ CAD/CAM solutions ワークフロー



CEREC® Zirconia
Translucent Zirconium Oxide Block

+

Calibra® Ceram
Adhesive Resin Cement

* 支台のテーパーが歯軸に対して 20 度以上、かつ高さが 4mm 未満の場合、前処理材が必要となります。

Celtra® Duo
Zirconia-Reinforced
Lithium Silicate (ZLS) Block

CEREC Blocs C

+

Calibra® Ceram
Adhesive Resin Cement

+

Prime&Bond® universal
Universal Adhesive

* Celtra Duo, Cerec Blocs C にはシラン処理が必要です。



デジタルワークフロー

Step 1: 支台歯のスキャン



Step 2: 修復物のデザイン



Step 3: 修復物の加工



Step 4: シンタリング・グレース



デンツプライシロナについて

デンツプライシロナは、世界最大級の歯科向け製品およびテクノロジーのメーカーで、世界の歯科業界と患者に向け、革新的なサービスを130年にわたり提供しています。デンツプライシロナは、世界的ブランドの強力なポートフォリオの下、歯科製品および口腔衛生製品を含む包括的なソリューション、並びにその他の医療用消費器材を開発、製造、および販売しています。

デンタルソリューションカンパニーとしてのデンツプライシロナの製品は、革新的で高品質かつ効果的なソリューションを提供することにより、患者のケアを向上させ、より優れた安全かつスピーディーな歯科治療を実現します。デンツプライシロナはペンシルベニア州ヨークに本社を構え、オーストリアのザルツブルグに海外事業本部を構えています。同社の株式は、XRAY銘柄で米国NASDAQに上場しています。

デンツプライシロナおよび同社製品の詳細については、www.dentsplysirona.comを参照してください。